

<p>地域学校協働活動名</p>	<p>橋本高等学校・古佐田丘中学校中高一貫学校地域連携推進委員会</p>
<p>地域学校協働活動の概要</p>	<p>橋本高等学校・古佐田丘中学校では、平成30年度に中高一貫学校地域連携推進委員会を立ち上げ、「地域活動推進部会」「学習支援部会」「学校評価部会」を設置することで、地域と学校の課題を互いに共有し、具体的な取組を生み出す体制をつくっている。</p> <p>令和元年度は、中高一貫学校地域連携推進委員会と地域共育コミュニティ（地域学校協働活動）との連携を重視し、中学校では「地域の方々から地域を知る」ことに重点を置いた「ふるさと学習」を、高校では地域に根ざしたボランティア活動を充実させながら、地域の課題に対する地域貢献活動へと広げる「地域学習」を実施した。これらの学習は「学習支援部会」が支援し、「地域活動推進部会」ではボランティア活動を中心とした地域貢献活動の機会の拡充を支援していることから、効果的な運営が行われている。</p> <p>また、橋本市内の小中学校・公民館・児童館・こども園の代表者が集まる橋本地域共育コミュニティ本部会議（橋本市学校地域支援本部）を通して、各施設との連携を実現している。さらに、中高一貫学校地域連携推進委員会の委員が中心となり、地域や関連機関との連携・協力体制が構築され、生徒の活動の機会を広げることができている。</p> <p>これらの取組はコミュニティ・スクール導入以前から継続され、地域の共育コミュニティ会議との連携により、幅広い地域住民・団体の参画を得て活動が進められている。</p>

<p>地域学校協働活動名</p>	<p>ななさと共育コミュニティ</p>
<p>地域学校協働活動の概要</p>	<p>ななさとコミュニティ協議会と北野上小学校運営協議会とを中心に、東海南中学校・きらら子ども園と協働するとともに、近隣の中野上・南野上地域と連携し、合同で行う共育コーディネーター会議や合同通学合宿を実施するなど、近隣地域や近隣校との意見交換や情報共有につなげている。同時に、連絡・企画調整役を担う共育コーディネーターを中心に、地域の小・中学校・子ども園での学習支援や交流活動も実施している。また、地元のNPO法人との連携により、子供たちが自然環境について学ぶ機会を提供している。平成20年度から和歌山県が推進してきた「きのくに共育コミュニティ」構想のもと、「子供も大人も共に育ち、育て合う関係づくり」を目指して、学校・家庭・地域が連携し、継続的に取組を進めてきていることがわかる。</p> <p>将来を見通した活動として、これまで取り組んできたふるさと学習を発展させ、ふるさとに誇りや愛着を持ち、ふるさとを大切にすることを目標とした「ななさと学習」の計画を進めている。これまでの成果として、園児や児童に対し、幼いころから学習支援を行い、様々な行事を通して交流を深めてきたことで、中学生になってからボランティアスタッフとして地域行事に参加するようになるなど、地元への愛着を感じる効果も出てきている。さらに、幅広い地域住民の参画の様子が、ボランティア登録人数の多さに表れている。</p>

<p>地域学校協働活動名</p>	<p>神倉小学校運営協議会</p>
<p>地域学校協働活動の概要</p>	<p>神倉小学校の地域連携担当教員と学校運営協議会のメンバーで、YCSサミット（ヤタガラス・コミュニティ・スクール）を構成し、「①ふるさとの未来を託せる子供の育成」と「②コミュニケーション能力の育成」を目指している。活動にあたっては、YCSサミット企画員が中心となり、募集した地域サポーターとの連絡・調整を行いながら取組を進めている。また、地域の公民館との連携にも、一役買っている。活動を通して、学校運営協議会委員やサポーターなどの地域の方と、学校や子供たちとの関係が深まり、子供たちを共に育てる意識が高まっている。</p> <p>地域サポーターと子供たちがともに活動する「ヤタガラス子ども未来プロジェクト」では、子供たちの発達段階に応じて地域の文化を知る取組を継続して推進している。地域の文化・伝説・祭りについて、サポーターとともに調査・学習を進め、商店街での成果発表会を行うなど、多くの地域の方と連携した多様な活動になっている。成果として、子供たちの「ふるさと学習」の内容が充実するだけでなく、発表を通じて、地域の中に子供たちの声を届け、地域の活性化にもつなげることができている。また、学校の図書館のスペースを利用した「ヤタガラス子ども未来ハウス」を設置し、学校と地域の連携を進める拠点として活用している。</p>

<p>地域学校協働活動名</p>	<p>清川地域・学校協働活動</p>
<p>地域学校協働活動の概要</p>	<p>平成5年に発足した「清川を考える会」が、地域の公民館・区長会・母親子供クラブ・青年団等と連携し、学校運営協議会に参画している。地域と学校がより緊密な連携を図りながら、「地域に守られる学校」から、互いに助け合いながら「地域とともにある学校」に発展することを目指して、継続的に活動を進めている。</p> <p>清川小学校では、「清川を考える会」を基盤として、地域から様々な支援を受け、地域の特産物と人材を積極的に活用した郷土学習や体験学習を実施している。</p> <p>また、地域の人口減少にともなう児童数の減少により、地域の区民運動会と小学校の運動会の単独開催が難しくなったことから、学校運営協議会・清川を考える会・区民運動会運営委員会が連携し、保育所・小学校・区民合同運動会の開催に向けて取り組んだ。地域行事と学校行事の融合により、地域住民の交流の一助となるとともに、地域の方々の学校への理解が深まり、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」につなげることができている。</p> <p>さらに、ふるさとを大切にする子供を育てるための学習や、敬老会との世代間交流、放課後の活動など、学校運営協議会・清川を考える会を中心に、幅広く取組を行っている。</p>